



PART 1

都の取組について ご紹介

2024.05.30.Thu
東京都 産業労働局 観光部



東京都が実施する アクセシブル・ツーリズム推進

Accessible tourism projects carried out by the Tokyo Metropolitan Government

1 東京都が実施するアクセシブル・ツーリズム推進

東京都では、アクセシブル・ツーリズムの推進に関して、様々な取組を実施しています。
(※取組の一部を掲載しています。各詳細は東京都産業労働局HPをご確認ください。)

Accessible Tourism Tokyo

都内の観光関連事業者及び旅行者向けに、アクセシブル・ツーリズムの
情報発信や対応事例を紹介する東京都のポータルサイト。



東京観光バリアフリー情報ガイド

都内の観光スポットをつなぐ38コースを紹介。各施設の観光情報、バリアフリーやトイレ情報、
移動時のポイント、コース周辺の観光スポット情報などを掲載。



アクセシブル・ツーリズム推進セミナー

アクセシブル・ツーリズムの基礎やメリット、
国内外から多様なお客様をお迎えする
ための接遇、心のバリアフリーや合理的
配慮の考え方等のノウハウを提供。



おもてなしポケットガイド

ボランティアなど広く都民の方が、
積極的に道案内や手助けをする
ために必要な基礎知識や状況に
応じた対応例などを掲載



乗降用リフト装置付バス利用支援補助金

乗降用リフト装置付バスを貸切で手配し旅行を催行する旅行業者に対して、その経費の一部を補助



誰もが楽しめる自然体験型観光推進事業補助金

東京の自然を安心して楽しめる観光プログラムを提供する事業者等に対して、備品等の導入経費を一部を補助



2



令和5年度 東京観光モニターツアー 取組紹介

Introduction of the Tokyo sightseeing monitor tour in 2023

旅行者自らドローン进行操作して、テレビ画面等を通じて都内観光を楽しむことのできる、新たな観光ツアーの事例創出を目的として、計7回の**モニターツアー**を実施しました。

モニターツアーの仕組み

①遠隔操作ツアー

旅行者自身は遠隔操作場所(介護施設等)にしながら、観光地に設置したドローンを遠隔で操作



②リアルツアー

観光バスで実際に観光地を訪れ、現地でドローン进行操作

ドローン操作の仕組み

- ◆ コントローラーにスマートフォンを接続し、ドローンと通信して操作
- ◆ スティックを動かして、ドローンを上下左右に操作
- ◆ 飛行場所でオペレータがドローンを監視し、非常時は操作に介入



奥多摩



令和5年7月上旬

東京都立奥多摩湖畔公園
山のふるさと村



特別養護老人ホームの入居者様
13名にご参加いただきました
〈遠隔〉



ネイチャーガイドさんから
奥多摩の自然案内



軽費老人ホームの入居者様
11名にご参加いただきました
〈リアル〉



大 島

障害者介護施設の利用者様
20名にご参加いただきました

令和5年7月下旬
砂の浜



約 1 km にわたって続く
美しい黒砂の海岸風景を上空から鑑賞



八丈島



令和5年10月上旬

大越アロエ園



青い海と白い灯台、
群生するアロエの
コントラストが美しい
風景を鑑賞



老人デイサービスセンターの利用者様
15名にご参加いただきました



東京2020競技大会会場

令和5年11月上旬
カヌー・スラロームセンター



有料老人ホームの入居者様
20名にご参加いただきました ＜遠隔＞



軽費老人ホームの入居者様
17名にご参加いただきました
＜リアル＞

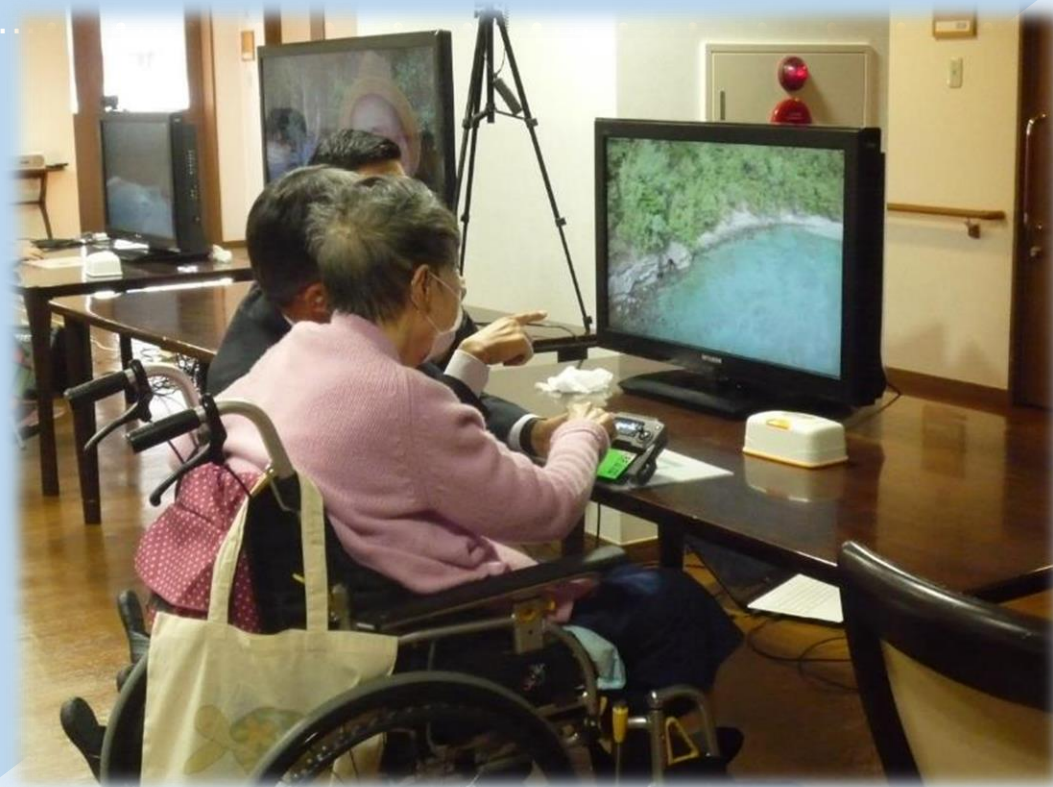


競技者の方とふれ合い
実演も行っていました



小笠原諸島

令和5年11月下旬
コペペ海岸



有料老人ホームの入居者様
15名にご参加いただきました



ドローンパイロットが操縦する
水中ドローンから
美しい海中世界もお届け

令和5年7月4日に実施した奥多摩でのモニターツアーの内容を、映像でご覧ください！



<https://tokyodouga.jp/9wuqrcoafxu.html>

3



モニターツアー 造成の際の留意点

Key points for creating a monitor tour

東京都としてモニターツアーを企画・実施してきた中で、留意したポイントは大きく5つです。



ツアー実施までにどのくらい**時間・工程**がかかるか



ドローン飛行**場所**はどのように選ぶか



ドローン操作体験をどのように**安全**に実施するか



参加者にどのように**楽しん**でいただくか



どのような**費用**がかかるか



CHECK
POINTS



ツアー実施までにどのくらい時間・工程がかかるか

調整

STEP 1

ドローン飛行に必要な
各関係者との調整

- ✓ 飛行場所候補地を選び、調整を開始
- ✓ ドローンの機体登録
- ✓ 航空局の飛行申請
- ✓ 土地管理者の許可

1 Month

下見

STEP 2

飛行場所候補地を
実際に下見

- ✓ ドローンパイロット手配
- ✓ 島しょ部などは宿泊先やレンタカーも手配
- ✓ 1 候補地につき、所要時間は約 2 時間

1 Month

検討

STEP 3

飛行場所とツアー
の詳細を検討

- ✓ 下見を踏まえて、飛行場所を検討
- ✓ ドローン飛行体験のほか、観光コンテンツを検討
- ✓ 具体的な日時決定

1 Month

公募

STEP 4

参加する介護施設
を募集・選定

- ✓ 募集方法や期間を決定し、募集を開始
- ✓ 応募の中から、抽選で参加施設を決定

3 Week

実施

STEP 5

モニターツアーの
本番実施

- ✓ ドローンの飛行場所及び参加施設(リアルツアーはバス添乗)のそれぞれに人員配置

1 Day

約 **4 か月** の準備期間が必要 (※状況に応じて各工程および期間の大幅な変動あり)



ドローン飛行場所はどうに選ぶか



安定的な通信環境



周辺の障害物

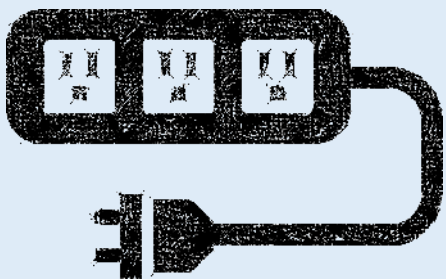


上空からの景観



リアルツアー

バリアフリー環境



電源の確保



生態系への影響



天候急変への対応



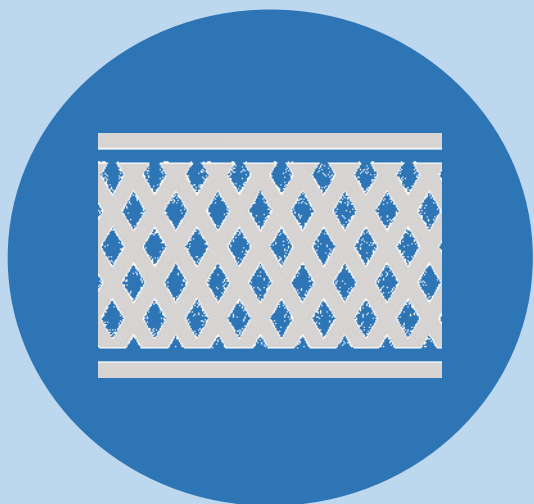
リアルツアー

操作場所の確保



ドローン操作体験をどのように安全に実施するか

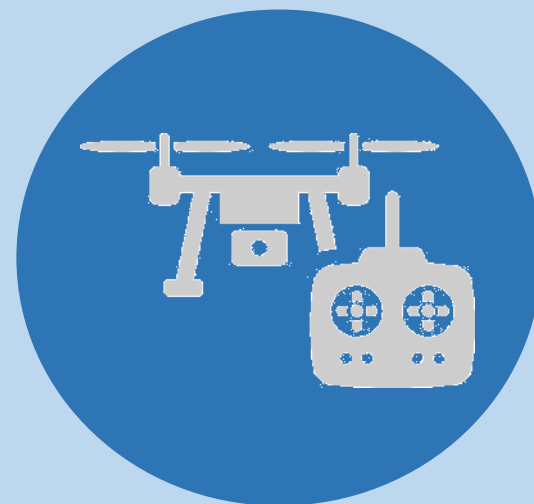
ジオフェンスの設定



適切な人員配置



緊急時の操作介入



あらかじめ設定されたエリア外へ
ドローンが飛び出さないように、
ソフトウェアにより**飛行範囲**を**制限**

ドローンが飛行する現地には
必ず複数の「**安全確認要員**」
として補助者を配置し、その
目視内で飛行

現地に「**監督者**」となる経験豊富
なパイロットが、いつでも**操作介入**
でき、緊急時には**危険**を事前に
回避

参加者にどのように楽しんでいただくか

観光案内

- ♪ ドローン操作体験の前に、観光スポットや名物、歴史、自然、文化などをご紹介

■ 大島の名物



伊豆大島近海で育った新鮮な魚介類や干物。

大島牧場で育った美味しい牛乳。

現地ガイドとの掛け合い

- ♪ リアルタイムで現地ガイドに直接質問ができ現地を訪れているような臨場感を演出



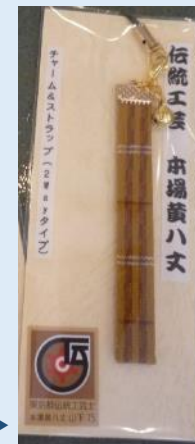
お土産

- ♪ 観光地にちなんだお土産をツアー最後にプレゼント



▲ 奥多摩手ぬぐい

八丈島黄八丈ストラップ ▶



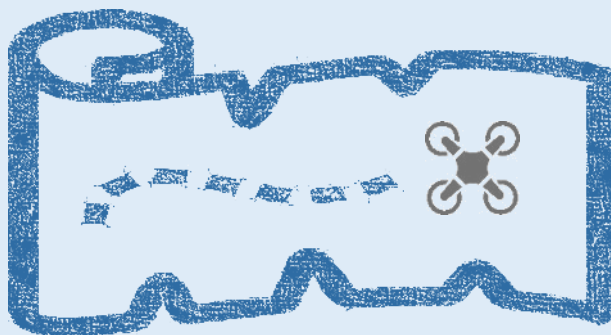
地域に親しむコンテンツ

- ♪ 様々な施設を訪問および車窓観光
- ♪ 地域食材を活かしたお食事のご提供



ドローン飛行ルート設定

- ♪ あらかじめドローンの飛行ルートを設定し、よりスムーズな操作体験を実現



水中ドローンの活用

- ♪ 現地のドローンパイロットが水中ドローンをリアルタイムで操作し、海中世界をお届け





どのような費用がかかるか

下見に係る費用

- ・ 交通費、宿泊費
- ・ 施設利用料
- ・ 機器輸送費
- ・ ドローンパイロット及び補助員への業務委託費 等

ソフトウェア・クラウド等 開発委託費用

- ・ ドローン操作用クラウドの設定開発（主に遠隔操作）
- ・ 飛行ルートのソフトウェア設定開発 等

当日運営費用

- ・ 施設利用料
- ・ 機器輸送費
- ・ ドローンパイロット及び補助員への業務委託費
- ・ イベント会社、現地ガイドへの業務委託費 等

4

令和 6 年度 事業の方向性

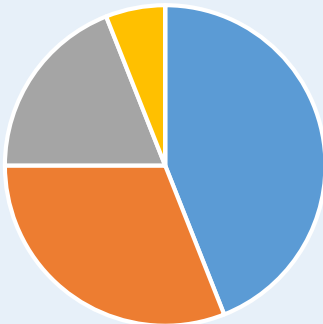
Direction of project in 2024--2025



参加者アンケートの結果

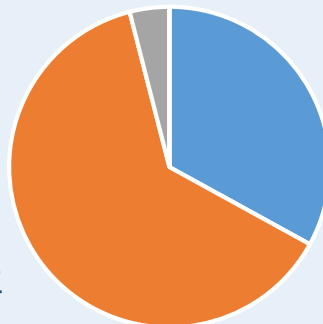
遠隔操作ツアー 満足度

- とても満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- あまり満足しなかった
- 全く満足しなかった



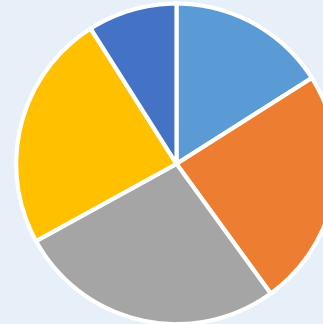
リアルツアー 満足度

- とても満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- あまり満足しなかった
- 全く満足しなかった



ドローン操作は 簡単だったか

- とても簡単だった
- 簡単だった
- どちらともいえない
- やや難しかった
- とても難しかった



介助者からのご意見



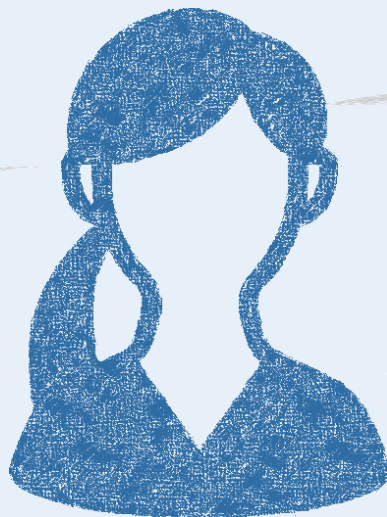
現地にいるような臨場感がよかった



施設でなかなかできない非日常体験ができた



最初は遠慮していた98歳の女性が、「やってみて良かった」と言っていた



障害者も高齢者も出来る事と出来ない事は様々で、1人1人合わせた道具があると良い 

知的障害の方にどのように説明すると分かりやすく盛り上がるか 

天候不良でも、代替策で旅行気分が味わえるような工夫があるとよい 

ドローンを活用した アクセシブル・ツーリズム



魅力

可能性

都内への普及を推進



旅行者



障害者・高齢者等だれもが、
リアルな**観光**を楽しむための
選択肢が増える



観光地



観光地に**新たな価値**が生まれ、
地域の観光**振興**や**魅力**創出、
活性化にも繋がる



ドローンを活用したツアーづくりを支援
必要経費を一部補助

創出された事例を発信



※詳細については、東京都産業労働局HPをぜひご確認ください。

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/tourism/kakusyu/drone-accessibletourism/>

東京都では、ドローンを活用した観光ツアーの普及により、誰もが旅を楽しめる世の中の更なる実現を目指してまいります。

ぜひ、皆さまの取組をお待ちしております。



東京都